



春日市地域活動指導員だより NO.10

平成15年8月22日

春日市教育委員会 社会教育課

春日市地域教育力・体験活動推進協議会 が 設立されました

7月17日(木)、『春日市地域教育力・体験活動推進協議会』の設立総会ならびに第1回会議が開催されました。

協議会設立の目的は？

現在、青少年の問題が語られる中で、特に地域ぐるみの子育ての大切さが再認識されるとともに、子どもたちの体験不足が指摘されているところです。このため、春日市におきましても、地域や学校が協力して子どもたちが参加できる様々な体験活動や奉仕活動を展開することが求められています。具体的な事業の実施は市内各小中学校に設置された「学校開放推進運営委員会」が中心となって行いますが、これを統括し市全体で総合的に子どもたちの充実した体験活動を推進するために必要な協議を行う組織としてこの協議会が設立されました。

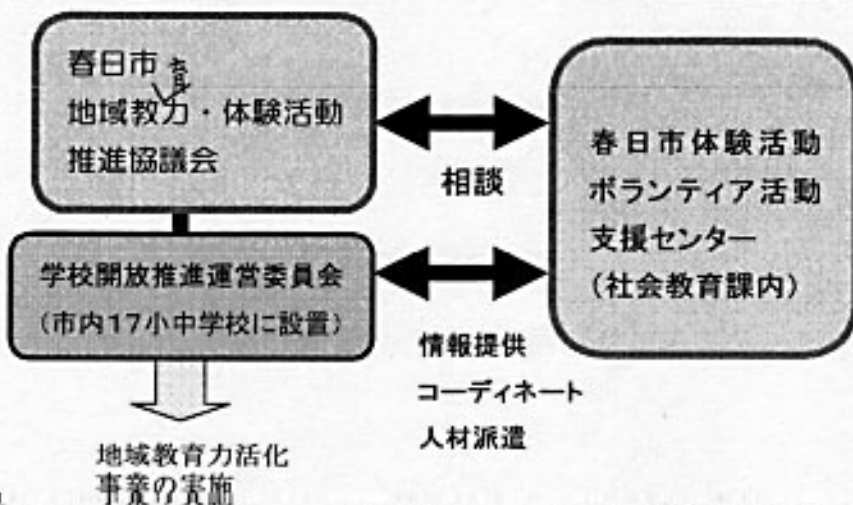
どんな人が委員に なってるの？

行政関係者、社会教育・学校関係者はもとより、本市における地域の教育力活性化や奉仕活動・体験活動の推進を担う地域や民間の団体の関係者など幅広いメンバー25名で構成し、市民と行政が一体となった推進体制となっています。

会長に松尾憲二郎さん（春日東小学校長）、副会長には田中一徳さん（春日市青少年育成市民会議会長）が選任されました。

また、この推進協議会の設立と並行して、『春日市体験活動ボランティア活動支援センター』を設置し（事務局：教育委員会社会教育課内）、体験活動の企画相談、人材派遣などの具体的な支援を行い地域の教育力活性化や奉仕活動・体験活動を応援していきます。

体験活動推進・ボランティア活動の推進(イメージ図)



春日市青少年育成市民会議
春日市体育協会・文化協会



高陶会の方が指導者となつての陶芸体験

ボランティア養成講座

遊名人マスターコース

ただいま 生き活きと 進行中！！

子どもたちを驚かす
ロープの奇品の実演光景

こうして
ここに通してと。
これでよかと
かいな??



7月9日から10月22日までの10回のスケジュールで行っているボランティア養成講座がただいま順調に進行中です。今回は竹細工やわら細工といった“伝承工芸”や“クラフト”の技術を身に付けるとともに、その技術を活かして地域や学校で子どもたちを対象とした『ものづくり教室』や『遊び』のボランティアとして活躍していただくための実習まで体験する講座となっています。

8月中には工芸の技術実習が終わり、9月・10月はいよいよ地域や児童館で子どもにおもちゃ作りを教えたり一緒に遊んだりする実習に入ります。

23名の方が受講されていますが、出席率がとてもよく、皆さん毎回いきいきと参加されています。7月の入門段階で講師の先生から「子どもたちに何かをしてやっているという意識ではなく、自分が楽しいという気持ちでないと相手も楽しくないですよ」というお話があっていましたが、その意味では皆さん『遊名人』の素質十分で、皆さんの楽しさとやる気に毎回こちら元気をもらっている気がしています。

講座の終わりましたら、学校や地域で卒業生の活躍の場をいただきますよう、よろしくお願いします。

アイスブレイキングの
技も体験しな
から学びました!



↑ 休憩時間も手品をマスターするために一生懸命な受講生の皆さん!!

リボンで作った
金魚です



ビーズで作った
トロロと
ネコバス



実習で制作した作品の一部です